

平成28年3月30日

各位

上場会社名 旭化学工業株式会社
 代表者 取締役社長 杉浦 武
 (コード番号 7928)
 問合せ先責任者 取締役総務部長 奥村 哲男
 (TEL 0566-92-4181)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年8月期第2四半期累計期間において特別損失を計上するとともに、平成27年10月27日に公表いたしました平成28年8月期第2四半期累計期間及び通期の連結及び個別の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年8月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年9月1日～平成28年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,600	0	50	35	9.59
今回修正予想(B)	3,651	△52	2	△244	△69.15
増減額(B-A)	51	△52	△48	△279	
増減率(%)	1.4	—	△96.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年8月期第2四半期)	3,812	△34	1	△40	△11.11

平成28年8月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,200	10	80	50	13.70
今回修正予想(B)	6,700	△100	△40	△280	△79.35
増減額(B-A)	△500	△110	△120	△330	
増減率(%)	△6.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年8月期)	7,640	△84	△16	△61	△16.94

平成28年8月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年9月1日～平成28年2月29日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,500	△20	△1	△0.27
今回修正予想(B)	1,478	△45	△269	△76.23
増減額(B-A)	△22	△25	△268	
増減率(%)	△1.5	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年8月期第2四半期)	1,534	43	32	8.77

平成28年8月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,000	△25	△10	△2.74
今回修正予想(B)	2,900	△45	△250	△70.85
増減額(B-A)	△100	△20	△260	
増減率(%)	△3.3	—	—	
(ご参考)前期実績	2,928	237	240	65.77

(平成27年8月期)				
------------	--	--	--	--

修正の理由

特別損失の計上について

当社の保有する固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、今後の業績見通し等を勘案し将来の回収可能性について検討した結果、2億16百万円の減損損失を特別損失として計上いたします。

修正の理由

(1) 連結業績予想の修正理由

第2四半期累計期間につきましては、為替の換算レートが1元18円の予想が18円56銭となり売上高は予想を上回る見通しであります。しかし、利益面では、個別業績予想の修正により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の各利益共予想を下回る見通しであります。

通期につきましては、為替の換算レートを1元18円を17円と変更したため売上高は予想を下回る見通しであります。利益面につきましても、第2四半期累計期間の業績予想の修正要因に加え、売上高の減少により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の各利益共予想を下回る見通しであります。

(2) 個別業績予想の修正理由

第2四半期累計期間につきましては、自動車向け部品の生産停止のため受注が減少し、売上高は予想を下回る見通しであります。利益面では外注製品の売上比率増加により外注費の増加、また新製品の製造が始まり新規金型の減価償却費の増加により、営業利益、経常利益は予想を下回る見通しであります。当期純利益は、上記の特別損失(減損損失)2億16百万円により予想を下回る見通しであります。

通期につきましては、売上高は第2四半期累計期間の修正理由等に加え、自動車関係の販売単価減少等により受注減少の見込みとなり予想を下回る見通しであります。利益面につきましては、売上高の減少に伴い各利益共予想を下回る見通しであります。

(注)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想と異なる場合があります。

以上